

右田清治：中国の張定民先生の死去を悼む Seiji MURATA: Zhang Ding Min (1926–1986)



中国山東海洋学院の張定民先生が1986年7月22日に急死された。享年60歳であった。中国科学院海洋研究所の任先生、大連水産学院の郭先生の便りでは、張先生は山東省威海市にワカメ種苗培養の指導に行かれ、7月16日青島への帰途に、山東半島の突端に近い文登という所で、雨でバスが転落し胸部に重傷を負われ、治療の甲斐なく6日後に死去された由である。

張先生は、1926年2月19日に青島市に生まれ、1950年に山東大学水産学部（現在の山東海洋学院）を卒業、そのまま現在まで母校に残り、水産植物学とくに藻類養殖の講義、研究を担当されていた。研究分野では「流速と昆布生長との関係」などコンブ、ワカメ、

ノリ養殖に関しての多くの論文があり、また「藻類養殖学」「昆布養殖学」「海藻栽培学」などの中国における教科書の著書を執筆されている。

最近、先生は学術視察などの目的で4回来日され、水産関係の多くの研究者と親しく交流を持たれている。長崎にも山東海洋学院の海洋調査船「東方紅」で視察団の副団長として来訪された。

張先生は、多くの日本人が通った旧制中学の青島商業学校の卒業で、日本語に大変精通されていた。そのため、中国コンブ養殖の祖である大槻洋四郎先生の講義をはじめ、日本の多くの研究者の青島における講義、講演の通訳をされてきた。私も昨年5月中国科学院海洋研究所で2日間の講演を先生に通訳していただいた。また、青島は中国の海洋、水産研究の中心的都市であり、同地を訪れた多数の日本人が先生のお世話になっている。研究者以外に、一般の日本の商社、観光団のお世話でも先生は多忙を極めておられた由承っている。このような日中両国間の科学技術交流を通じての功績に対して、張先生は中国政府農牧漁業部、山東省などより表彰を受けておられるとのことである。

以上のように、張定民先生は藻類養殖の中国における第一人者であったばかりでなく、日中友好にも献身的な貢献をされた方であり、日本人に寄せられたご好意に対し深く感謝の意を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(852 長崎市文教町 長崎大学水産学部)